

令和6年度 行政評価表

担当課	伊奈町子育て支援センター
章名	第3章_人を育て_はじける笑顔_輝くまち
節名	第1節_子ども・子育て支援の充実
施策名	施策4_地域の子育て支援

今年度の 施策達成度	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100%）
	B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70%）
	C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30%）

施策達成度の理由
(施策に対する
令和6年度の実績及び効果)

- センター内の対面や電話相談、児童相談員による育児や発達に関する相談や助産師、歯科衛生士等の講座を開催し、育児不安を解消した。
- 発達に不安を抱えている就学前のお子さんを持つ保護者を対象とした、就学説明会や就学懇談会を開催した。
- あたたかいひとしきが持たれることを願い絵本を手渡すブックスタート事業を乳児健康検査時に実施した。
- 子育て拠点の充実を図るため、ふれあい活動センター(ゆめくる)でつどいの広場事業を実施した
- 空気清浄機等を使いこなす換気や室内や玩具の消毒を徹底することで、清潔な場で安心して過ごせる場を提供した。

施策の内容	目指す姿	多様な保育サービスの提供や子育て支援の充実により、安心して出産・子育てのできるまちになっています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> 保育所及び放課後児童クラブは充足率が高く、今後の待機児童発生が大きな懸念となっていますが、その一方、就学前人口は減少傾向にあり、ニーズの増加と人口の推移のバランスを見極めながら取組みます。 保育ニーズが多様化することが考えられるため、一時保育、病後児保育、延長保育など保育事業の検討を行いながら、待機児童の解消、少子化対策に引き続き取組みます。 幼児教育(就学前児童の教育)の充実に向けて、保育士等の質の向上を図るとともに、人材の確保に努めます。 今後の児童の減少を見据えた保育施設のあり方について検討します。 児童虐待が大きな問題となってきたことから、子どもを取り巻く環境の変化への取組の充実に努めます。 里帰り出産など母子不在時の対応や面接拒否の案件などについては、他市町村保健部門や関係部署との連携を図ります。

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> 核家族化が進行し、子育て等の疑問や悩みを相談できる相手がいない状況がある。そのため、育児情報をインターネットから検索するが、多様な情報量から自身にあった選択が難しく困る保護者が増えている。
	住民ニーズの変化について	<ul style="list-style-type: none"> 食事の時間や食べさせ方、就寝時間が定まらないなどの生活のリズムについてのこと、トイレトレーニングの進め方など育児に関する身近な内容の相談が増えている。
	展開した事業は適切であったか	<ul style="list-style-type: none"> 講座を定期的に実施し、助産師や歯科衛生士等の専門的な話を提供したり、個々の相談を受けたりすることで、保護者の不安解消につながった。 通常の子育て支援センター・玩具の他、室内の一角にポールプールや大型遊具のコーナーを設ける等のイベントを予約不要で開催した。子育て支援センターに通うきっかけとなった。
	施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍や多胎児のいる家庭、配慮が必要な子育て家庭等の状況に対応した交流の場の提供や相談ができるような支援が必要である。 さまざまな方法で発信しているが、子育て支援センターやつどいの広場の存在が幅広い家庭に周知されていない状況にある。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)		
	(2)		
	(3)		
	(4)		

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> 対面や電話での相談、相談員による児童相談、助産師や歯科衛生士等の専門的な助言をする講座開催など子育てに関する相談体制を充実させる。 保護者がリフレッシュできるような講座等を取り入れ、親子支援につなげる。 乳児健康診査時に子育て支援センターやつどいの広場の案内通知を配付・掲示し、子育て支援拠点の周知を強化する。 秘書広報課に講座やイベントの取材依頼をし、情報発信を強化する。

行政評価表(事業評価一覧) 合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
		8,262	8,628	4,894	0	3,734

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況

- 講座やイベントなどの情報をLINEやInstagramを使用して発信をした。気軽に申し込みができるように令和6年度から二次元コードを取り入れた。
- 親子が気軽に集い、情報交換ができるさまざまな事業を工夫し継続していく。